



#知りたいことがある #相談したいことがある

無料

# わかもの そんなときこそ 若者サポーター!

若者サポーターは若者の活動を応援するため、相談内容に応じた現地指導をおこなう  
“活動の助っ人”的な役割です。



## 利用者の声

- 何かを始めたい時や、何か事業を行う際に専門的なアドバイスがいただけるので、ぜひ活用をお勧めします。
- 先ゆく先輩の話を聞くことができ、疑問点のほかにもいろいろな視点を持つことができ、とても有意義な時間でした。
- 個人事業主として活動してみたいけど、どうやって始めたら良いかわからない方には、オススメします。
- 自分の得意な分野を丁寧に教えてもらえるので、団体にとっても自分自身にとってもプラスになり、ステップアップできます!

## インタビュー 経験者に聞く! ~地域活動はじめの一歩~

**profile**  
 県外の大学を卒業後、Uターンして生花店に約8年勤務。30歳で「店舗をもたない花屋」Iriplan（アイリープラン）を創業する。マルシェに出店しているうちに自分でも開催したいと思うようになり、令和4年にマルシェ企画運営団体「やままる実行委員会」を立ち上げる。  
 「今は日によって花屋だったりイベントだったりサイクル業だったり、いろんな事をしていきます」



やままる実行委員会  
 代表  
**増田 健太郎さん**

地元を元気にしたい、と村山市を中心にマルシェを開催している「やままる実行委員会」の増田健太郎さんにお話を伺いました。

## 「村山市から県民を巻き込んだ文化祭のような楽しいマルシェを、みんなで作り上げたい」

### 文化祭のような、みんなで作るマルシェ

本番に向けて頑張って作り上げていく時間の楽しさ、ワクワク感。みんなで作り上げていく一致団結する盛り上がりまさに「文化祭」のようで、そのフレーズを使っているそうです。  
 高校時代の恩師が校長を務める、村山産業高校で「ムラサンキタマチマルシェ」を実現したのは、画期的な取り組みでした。出店を通して生徒の社会勉強にもなり、一般の方が普段接点のない校長先生方と気軽に話せる面白い企画も行いました。斬新なマルシェで地域が盛り上がりました。

### つながりを生むタイアップ

企業や行政、学校などとタイアップすることが「やままる」のこだわりです。地域を盛り上げたい。人と人との繋がりを二重三重の力で作り出したい、という思いは、<タイアップすることで企画段階からいろんな人との繋がりと協力ができる><会場のお店や施設も盛り上がる>という相乗効果を生みます。また出店者は女性が多く、マルシェが一步踏み出す場となり、女性の起業支援にもなっているそう。



▲yamagataglamで開催した「さくまる」の様子

### あえて準備万端にしない「作戦」でみんなを巻き込む

今年2月に開催した「ゆきまる」（村山市とタイアップした雪まつり）は、準備段階からみんなで関わられるような会場作り重点を置きました。会場設営の「かまくら雪灯籠作り」をイベントにする発想で、当日来ることができない人も参加できるように。「あえて準備万端に進めないことで、地域の人や行政・企業の人が大勢協力してくれました。皆が“自分が作ったマルシェ”だと自分ごととしての愛着を持てるようなマルシェを設計していきたいです」と増田さんは話します。

### マルシェを開催するまで

花屋の仕事でマルシェに出店していた時に、村山市でのマルシェがあまりないことに気づき、「地元で開催したい!」と思うように。実行委員会を立ち上げ、有志数人で小規模なものから始めました。  
 令和4年3月「お米のめぐみ 穂たる」でのミニマルシェを皮切りに、4月「さくまる」10月「ムラサンキタマチマルシェ」、令和5年2月「ゆきまる」など今年の春まで約10回開催。評判が良く、複数回開催している会場もあります。

今秋 LinkMURAYAMA でイベントを開催予定です。“文化祭のようなお祭りをしたい”という思いを、自分の母校の跡地でもある場所で実現できるのは感慨深い。いろんな企画を練っているんで、ぜひ皆さんに来てほしいです。



▶「さくまる」は屋内外の両方を使用

**増田さんからのメッセージ**  
 まず人に会うこと! 自分がやりたいことをすでにやっている人がいるなら、会いに行く。話ができなくても、活動しているところを見るだけでもいいし、オンラインで連絡をとって繋がる。そういう人がいなければ、何かの分野で頑張っていて結果を出している人と話をしましょう。  
 世の中を知る事ができる本を読んだり、学校では学べない、社会人になってからのさまざまな勉強をしたりすることも大切。じっとしていても、何も始まらないので、まずは一步踏み出しましょう!

▼最新情報はInstagramをチェック!



実施期間：令和6年3月31日まで（受付終了は3月10日）※予定数になり次第終了になります  
 利用対象：・山形県内で地域を元気にするための活動をしている（これから始めようとする）  
 高校生～40歳位の団体または個人  
 ・山形県内へ移住を検討している40歳位までの個人  
 ・山形県内の教育機関（サポート受益者が高校生～40歳位であること）

若者のみなさんの地域活動を応援しています!  
 お問い合わせは電話もしくは「おこしあいネット」へ

☎ 080-4732-3804